

PRESS RELEASE (2024/07/30)

九州大学筑紫地区地域連携推進チーム×大野城心のふるさと館 プレゼンツ

ここふるサイエンスカフェ Vol. 1 1

古代エジプト ツタンカーメン王の時代から未来の科学技術を支える永遠の石英ガラス
～ガラスの不思議と魅力をお伝えします！～

九州大学筑紫キャンパスと大野城心のふるさと館は、科学の面白さ、奥深さ、生活との結びつきなどについて、中学生・高校生を始め、どなたでも気軽に学んでいただくことを目的として、皆さんと考えながら科学への理解を深められる「サイエンスカフェ」を実施しております。

第11回目の講師は、九州大学総合理工学研究院の藤野茂教授です。
ファシリテーターを総合理工学研究院 藤野研究室の大学院生が担当します。

【開催日】令和6年9月13日（金）
19:00～20:30

【場所】大野城心のふるさと館 1階ジョーホール
(大野城市曙町3-8-3)

【定員】30名 ※申込多数の場合は抽選

【締切】令和6年9月1日（日）



↑ 申込フォーム
(9月1日まで)

※申込方法は、大野城心のふるさと館HPからご確認ください。

<https://www.onojo-occm.jp/li/190/cocofurusciencecafe.html>

※定員に達するまで受付を行います。締切日以降の参加可否については、大野城心のふるさと館へ直接お問い合わせください。

※メモ帳等筆記用具が必要な方は各自でご持参ください。

研究者からひとこと

今回のテーマは、「石英ガラス」。身の回りの生活にはかかせない“ガラス”。ガラスの中でも石英ガラスは特性が一番良く王様と言われるのは何故？実際に、ツタンカーメン王が愛した石英ガラスはいつどのようにして作られたのか？その起源と未来の科学技術を支えるガラスについて丁寧に説明します。

藤野研究室では小指の上の微小サイズの鶴もガラスで作製しました。その他にも3Dプリンタで作製したあっと驚くガラス作品も当日、ご覧頂けます。



↑ 小指の上の微小サイズの鶴。加工が難しく単純な形状しか作製できなかった石英ガラスを、3Dプリンタにより超複雑形状で作製する技術を開発！

← 開発に取り組んだ藤野研究室

【お問い合わせ】 大野城心のふるさと館ミュージアム担当
TEL:092-558-5000
FAX:092-558-2207
Mail:cocofuru@citv.onoio.fukuoka.id

九州大学筑紫地区事務部総務課総務係
TEL:092-583-7502
FAX:092-583-7060
Mail:srsvomu@iimu.kyushu-u.ac.jp